

福祉わくや

2016.10
第119号



 おらほのふれあいレポ 上小塚区

「世代間交流夏まつり」

地域ふれあい物品を借り、ゲームを行いました。はじめてのゲームに、子どもたちは興味をもって挑戦していました。また、「ラムネ早飲み競争」は、ビー玉が邪魔で大人も苦戦し、なかなか飲み終わらなかったようです。

「流しそうめん」は、約3メートルの竹の両側に子どもたちが並び、流れてくるそうめんを必死に掴もうと大騒ぎでした。

「子どもたちの遊んでいる声を聞くと元気が出るね!」との声が聞かれ、もっと交流できる場を増やしたいと思いました。



PICK UP!

- 平成28年度 福祉作文・福祉ポスター・福祉標語コンクール入賞作品
- 誰もが参加できる地域づくりを目指して～地域福祉会長・福祉推進員研修会～
- おらほのふれあいレポ
- ゆうらいふ通信

福祉標語コンクール入賞作品

一作文の部

最優秀賞

「人々の気持ちを 考えて」



涌谷中学校 1年
あわの 栗野 咲希

福祉とはどういう事なのか知っていますか。

福祉とは、人との繋がり、思いやり、皆と協力する、支え合い…などです。

私は、高齢者や障害者の人たちと、若い人や体がじょうぶな人では接し方や気遣いが違うと思います。

私は、小学四年生の時に、ゆうらいふで、桜交流会をしました。通路を通る時に高齢者が手すりをつかみながら、ゆっくり歩いていました。そこに、そのおじいさんの物が落ちてしまいました。私はそれを見て、若い人は拾えるけど、高齢者はそう簡単には拾えないと思い、急いでかけつけて、拾ってあげまし

た。他の場面では目の不自由な人が白杖を持って、涌谷駅を歩いていた。私が偶然通りかかった所に、ジュースのペットボトルが落ちていました。その時に目の不自由な人を思い出して、私はゴミを拾わないと、その人がつまずいたら危ないと思いい、拾いました。車椅子の人がいたら、自分より、その人を優先し、目の不自由な人と同じように、ゴミがあつたりしたら、歩きやすいように拾おうと思いました。耳が聞こえない人がいたら、手話は、できる人できない人がいるので、ジェスチャーで表して、目で聞きとってもらえるように私が努力しようと思えました。

先週のニュースで目の見えな人が盲導犬と一緒に駅のホームにいたところ、線路に落下してしまつたという事故がありました。まわりにいた人は、気づかなかつたのでしょうか。その駅にいたら、危ないですよ！といつて少しでも広い所に移動させることもできたと思います。書く事、言う事は簡単ですが、実際に実行してみたいと思いません。駅や道路などでの事故が多発しています。少しでも、役に立つために、そして、事故を防ぐために目の不自由な人や障害

者がいたら、その障害に合わせて、気づいて声をかけてあげられるように一人ひとりが目くばり、心くばりをしていくべきです。

私は、障害者や高齢者ではないので、その人たちの気持ちは分からないけど、相手の立場になつて考えて、私にできることがあれば何でも助けたいと思います。私がこの作文で知ってほしかった事は、高齢者や障害者の方々には気を配り、優しい気持ちで接していくことの大切さです。通りかかった時にゴミなどが落ちていたら、自分から進んで拾うなど一人ひとりが住みよい町にするため、身近な所から、少しのことでも、実行していくべきだと思います。



優秀賞

「思いやる心」



涌谷中学校 2年
よこやまの 横山 寧々

相手を思いやる心は、誰にでもあります。その気持ちを行動として表すのは、簡単なことではありません。なぜなら、私も思いやる心を行動などで表せないからです。

休みの時、買い物をしていた時にうしろにいたおばあさんが困っていました。しかし、私は心の中で話しかけるか話しかけないかまよつてしまい、足が動きませんでした。

私は、すぐそばにいた人に対して「近くにいるんだから声をかけるべきではないか」と思いましたが、近くにいたのに声をかけてあげてなかつた私も同じだと思いました。気づいていても、考えていても行動しなければ同じです。

学校生活でもみんなで何かを決める時に、積極的に手を挙げる人がいるのに、私は、「やり

平成28年度 福祉作文・福祉ポスター

「たくない」と思い、手を挙げないでずっとまよってしまいました。私は、恥ずかしい思いだったり、「私が手を挙げなくてよかったり色々と考えているうちにあきらめてしまっていました。こうした普段の私自身の考えが、誰かのために行動に移せない原因でもあると思いました。」

また、障害者やお年寄りの方に対して思いやる行動についても考えさせられます。車いすなどに乗った障害者が道を通る時に前にいた人がいて通れないのに「迷惑だ」「じゃまなんだから早くいけよ」などと言っている人がいたら障害者の人だって悲しい気持ちになります。思いやりのない態度や言葉は、やはり人を傷つけることになるのです。障害者やお年寄りへの思いやりのない、心のない言動は、今の社会に起きていることでそれらはいじめと言えらると思います。このように、障害者やお年寄りといった弱い立場の人たちに対して思いやりのない世界が、この先、ずっと続いていいのでしょうか。

私は、絶対にいけないと思いません。社会に起きていることを変えるためには、「思いやり」をたくさん人が持つことが一番

だと思えます。

しかも、思いやる心とは行動に表してこそ相手に伝わるものです。

人を思いやることは、誰の心にもあると私は信じています。けれども、それを行動に移さなければ本当の思いやることにはなりません。

だとしても、「思いやる心ってどうやって作ればいいの」などと思っている人もいるかもしれません。でも、それは大変なことではありません。周りの人を見て困っている人がいたら「どうしよう」とまよわず進んで困っている人のところに行き「大丈夫ですか?」「なにかありませんか?」と優しく声をかけてあげるだけで、思いやりは作れるし持つこともできます。

私は、いままでそれがほとんどできていませんでしたが、今からでもおそくないと思っております。そして「思いやり」は、相手や周りの人の気持ちを感じ、自分は何をすればいいのか、何をしてあげられるのかを考えることで生まれるのではないのでしょうか。そういうことの大切さをみんなが気付く、思いやりに満ちた世界を築いていきたいです。

優良賞

「今の自分に
できること」



籠岳白山小学校 6年
おとこざわ
男澤ひかる

ぼくは、おばあさんといっしょに苗箱を洗いました。

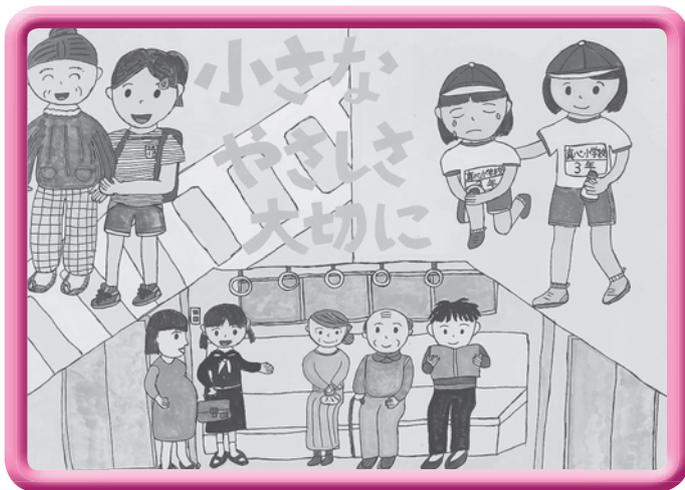
「いっっぱい手伝わってくれでありがとう。」

と言われた時はうれしかったです。おじいさんの作るお米はおいしいと評判で仙台のお店でも使われています。ほうれんそうも作っているの、土運びや袋づめの手伝いもしています。でも、おじいさんとおばあさんがもっともっと年をとって体が動かなくなってしまうたら、ぼくは、これまで以上におじいさん、おばあさんを助けてあげたいと思います。歩く時には、手をかしてあげたいし、病院に行く時には、車に乗せてあげたいと思います。そのためには、学校の勉強も介ごの勉強もがんばらなくてはならないと思いました。

今、自分にできることをもう一度考えてみました。「おはようございます」「こんにちわ」と近所のおじいさん、おばあさんにもあいさつをします。もし、困っているようだったら、「どうしましたか。だいじょうぶですか。」

と声をかけ、見守ってあげたいです。手をかしてやさしくしたいです。

ぼくの家にも、おじいさんとおばあさんがいます。今は、元気に農家の仕事をしています。田植えの時には、田植え機械に乗ってどんどん植えています。



涌谷第一小学校 3年
あきやま
秋山ちひろ

最優秀賞

「ポスターの部」



月将館小学校 6年
このみつき
今野 美月

優良賞



月将館小学校 5年
おがた
尾形さくら

優秀賞

助け合う
気づかう
心を育てよう

優良賞



涌谷第一小学校 6年
はやさか さきと
早坂 桜乙

もってるよ
いつも心に
思いやり

優秀賞



涌谷第一小学校 6年
むらかみ こうしろう
村上 晃史郎

思いやり
心で広がる
福祉の輪

最優秀賞



涌谷第一小学校 5年
こせき ひなた
小関 太陽

「標語の部」

PiCK up 社協事業

誰もが参加できる地域づくりを目指して

7月12日、9月21日

地域福祉会長・福祉推進員研修会



第1回

「認知症介護研究・研修仙台センター」「東北福祉会せんだんの里」「国見・千代田のより処ひなたぼっこ」で視察研修を行いました。社会的孤立状態や制度に囚われない支援、住民参画による居場所づくりの重要性について、考える良い機会となりました。参加者からは、「ひなたぼっこでの研修はとても興味深く、これからの必要性を強く感じた」「ひなたぼっこのようなサロンが涌谷にもあれば良いと思った」といった声が聞かれました。

第2回

涌谷町地域包括支援センターの職員4名を講師に招き、認知症サポーター養成を兼ねて研修を行いました。実例を基にした、寸劇を交えた分かりやすい内容で学びの多い研修となりました。

認知症を正しく理解し、地域のリーダーとして要支援者が参加できる地域づくり（サロンや見守り活動など）が期待されるものとなりました。

社協では、日頃から誰もが地域で認め合い、支えあうしくみをつくることで、その人らしく安心して暮らせるまちを地域の皆さまと一緒に考え、推進していきます。



グループワークを通じてプログラムづくり

9月20日

介護予防『パワーアップ』リーダー養成講座



これまでの講義や実技研修、運動広場等の実習を踏まえて、地域での「介護予防」を形にするため、プログラム作成を学びました。
はじめは、プログラム作成の難しさや実践に向けた準備について、不安の声が聞かれましたが、仲間とともに作成していくうちに、不安が一掃され、各行政区の実情を話題に出しながら、「この運動は介護予防に良いね!」「地域の人たちに教えるには、ちよつと難しいね」など、活発な意見交換がなされました。

ご近所さんと一緒に、笑顔で介護予防

長寿お達人教室

今年度から、3行政区（八雲区、下郡区、猪岡区）で毎月1回、長寿お達人教室を開催しています。主な内容は、健康講話、脳トレーニング、介護予防体操、お茶っこ飲み会です。参加者からは、「月1回みんなが集まって、会話を笑いあうことができ、とても楽しい!」などの声が聞かれています。



おらほのふれあいレポ



短台区

「お茶っこのみ会」

7月2日(土)

雨が心配される日で、麦刈りの作業があったり、予定より少し少ない人数でした。

しかし、盛り上がりは最高で、ゲームやクイズ、体操を行い、「心と体がリフレッシュできた」との言葉をいただきました。準備していたお菓子とお茶だけではなく、それぞれの持ち寄りで、テーブルがいっぱいに！短台区お母さんたちの、パワーを見ることができました。

「お茶っこのみ会(脳力アップ倶楽部)」

7月9日(土)

あいにくの雨模様で、集まりが悪いのではないかと心配しましたが、いつもどおりの参加がありました。手指体操とゆび編みを行いました。はじめはなかなかうまくいきませんでした。しかし、徐々に上手になり、熱中する姿も見受けられました。「指の運動は、脳の体操になるから、何度もやってみるといいね」といった話もあがりました。

最後は、音楽に合わせて体操し、そうめんやお菓子を食べながら、楽しくおしゃべりをし、充実した時間を過ごしました。



黄金区



6区

「児童館との交流 遊び場安全点検・公園の防犯活動・流しそうめん会」

7月10日(日)

あいにくの天気のため、大人による、公園の遊具安全点検と防犯点検を行いました。遊具の安全性や防犯に対する意識が身に付いたと思います。

また、食育と親睦を兼ね、流しそうめん会を実施し、児童や保護者の方々と一緒に、有意義な交流会を行うことができました。

室内での昼食会でしたが、子どもたちの食欲のすごさに驚かされました。来年も、このような交流ができるようにしたいと思います。

平成28年度会費のお礼と実績

本年度も涌谷町社会福祉協議会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

涌谷町の豊かな地域づくりのため、皆様から年会費の協力を頂きました。

会員皆様のご支援とご協力に、心から御礼と感謝を申し上げます。

また、各地区の地域福祉会長・福祉推進員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

一般会費	5,276,100円 (4,593件) ※減額、免除世帯も含まれます。
賛助会費	267,000円 (89件)
特別会費	500,000円 (61件100口)
総額	6,043,100円 (平成28年10月7日現在)



麓岳区

「お茶っこ飲み会(脳力アップ倶楽部)」 7月23日(土)

歌を唄ったり、頭の体操、身体の体操や色々なお話を聞き、大変盛り上がりました。また、脱水症状などについては、大変参考になりました。

参加した人たちからは、「もう一回ぐらい、企画してほしい!」との声があり、大変好評だったため、現在打ち合わせを重ね、調整しています。

また、行くことになった際には、地域の皆様に参加していただきたいと思います。

「下町区ふれあいサロン」

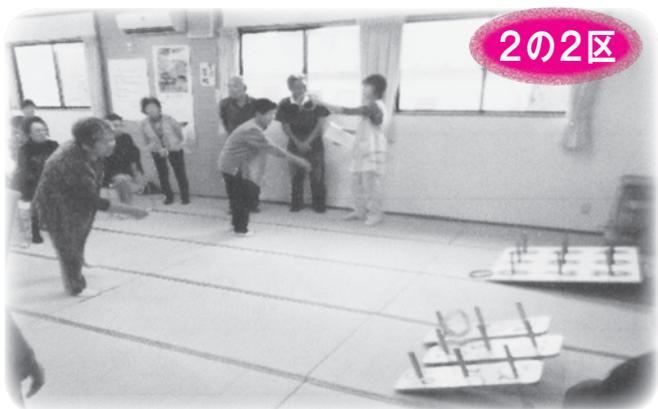
9月6日(火)

今季は、台風が多く心配したのですが、お天気も暑いぐらいで、安心しました。前日に参加者が増えたりとびっくりしましたが、当日は、軽い体操をしたり、クイズや歌など、真剣に取り組みました。会場には、笑い声が響いて、楽しいひとときでした。

また、手作りの漬物を食べたり、お菓子をつまんだり、「昼食をみんなで食べると美味しい」との声があちこちから、聞くことができました。



下町区



2の2区

「敬老お祝い会」

9月16日(金)

地域で敬老会をお祝いしようと、案内したところ、たくさんの方々に出席いただきました。

輪投げゲーム大会では、みなさん、互いに「頑張れ!」と声をかけあったりして、楽しんでもらいました。上位3名様には、賞品を差し上げ、大変喜ばれました。

その後、歌を歌いながら手と足を動かしたり、お手玉を使ってレクリエーションをしたりと、真剣に、時には、大笑いしながら、盛り上がりました。

帰りには、「お祝いしてもらって、ありがたいね」との言葉を聞くことができました。

●「地域ふれあい物品」を貸し出します! ●

今回紹介するのは、「スカットボール」です!

得点が割り振られた的に向かって、玉を打ち出し、総得点を競う大人気のレクリエーション物品です!狙った的に入ったときには、気持ち「スカット」すること、間違いなしです!男女問わず、楽しむことができるレクリエーション物品になっています!

この他にも、様々な物品の貸し出しを行っています。ぜひ、ご活用ください。

イベント物品	はっぴ、紅白幕、行事用テント、発電機 など
レクリエーション物品	マインディスティックカーリング、ラダーゲッター、ディスコン、思い出カルタ2種、輪投げ、スカットボール、ゲームルール、カラーボウリング、スマイル射的 など



問合せ先 ☎43-6661
(担当: 地域福祉課)

～わたしたちは、あなた「ゆう：You（利用者：家族：地域住民）」と共に、あなたの生活「らいふ：Life（人生：生命：生涯）」を大切にします～



特別養護老人ホーム & グループホーム

「ゆうらいふ敬老会」

入居者の皆さんの長寿をお祝いするため、9月19日ゆうらいふ敬老会を開催しました。

当日は、多くのご家族の参加もあり、会場全体がお祝いムード一色になりました。式典では、小野寺社協会長から、敬老の日を迎えられた皆さんにお祝いの言葉が述べられ、最高齢の96歳をはじめ、米寿と喜寿の方々に、長寿認定証と記念品が贈られました。



式典終了後には、日本民謡香湧会の方々から、東北の懐かしい民謡を聴かせていただき、さらには、舞踊ショーも行われ、入居者の皆さんとともに民謡を口ずさんだり、手拍子をしたりと、大変喜ばれている様子でした。



五番町デイサービス

「敬老会」

9月13日と23日の両日において、五番町デイサービス利用者の皆様の長寿をお祝いするため、敬老会を開催しました。



ゆうらいふスタッフが、三味線とフラダンスを披露しました。利用者の皆さんは、音色に合わせて手拍子したり、フラダンスと一緒に踊ったりと、終始盛り上がりました。最後は、満面の笑顔で記念撮影に応じていました。



地域活動支援センター

「布草履制作&バーベキュー行事」

古着やハギレを活用し、布草履の制作に取り組んでいます。慣れない足の指を使って作成するため、個性豊かな形となりましたが、履き心地が良いと評判です。



余暇活動では、石仏公園で自然観察も兼ね、バーベキューを行い、交流を深めました。はじめての炭おこしを体験し、心もお腹も満腹になったようです。



法人設立35周年記念社会福祉大会について

涌谷町社協は本年、社会福祉法人の設立認可から35周年を迎えました。町内の地域福祉関係者が一堂に会しての社会福祉大会を開催します。

- と き** 平成28年11月18日(金)
 受付12:30～ 13:15～16:00
- と ころ** 涌谷公民館 交流ホール
- 主 催** 社会福祉法人涌谷町社会福祉協議会
- 内 容** ・記念式典 表彰、感謝状
 ・記念講演
 演題「幸せはいつもすぐそばに
 ～日本全国のまちの笑顔を訪ねて～」
 講師 笑顔写真家(えがお先生)
 かとう ゆういち 氏

問合せ先

☎43-6661
 (担当：総務企画課)



簗岳地区にゆうらいふの

サテライト施設を整備！

社協では、涌谷町太田(旧簗岳中学校隣り)に、デイサービスを主とした福祉施設「(仮称) ゆうらいふ簗岳サテライトセンター」の整備をしています。



〈9月28日地鎮祭〉

来春開設を目指し10月から工事が始まっています。

施設は、木造平屋で床面積は313㎡。デイサービス(定員18人)機能に加え、社協事務局の付随機能や地域交流施設として計画しています。

より身近での福祉サービスと住みよい地域づくりの拠点として、期待しています。



～完成予想図～

赤い羽根共同募金運動、展開中！ (運動期間：10月1日～12月31日)

今年度も、10月1日から、「ほんの小さなやさしさで広がる大きな支援の輪」をスローガンに、全国一斉に、赤い羽根共同募金運動が展開されています。

多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。



10月3日、イオンスーパーセンター涌谷店、ヨークベニマル涌谷店にて、涌谷ブルースターズ(少年野球)、宮城県涌谷高等学校、涌谷町ボランティアの会の協力のもと、街頭募金を実施しました。

義援金のご協力、 ありがとうございました

募集を行っていただきました義援金について、地域住民の皆様より、下記のとおり、ご協力をいただきました。

寄せられた義援金には、皆様のあたたかい気持ちと復興への祈りが込められています。

義援金は、中央共同募金会を通して、被災された方々へ配分されます。

平成28年10月7日現在

平成28年熊本地震災害義援金募集
 171,214円

平成28年4月地震大分県被災者義援金
 10,777円

北海道 平成28年8月20日からの大雨
 (台風9・10・11号等) 災害義援金
 24,643円

岩手県台風10号大雨等災害義援金
 24,642円

エプロンおばさんと 遊ぼう広場 クリスマススペシャル

12月8日(木) 午前10時
ゆうらいふ多目的ホール



未就学子どもたちとその保護者を対象に、自由遊びや子育て相談を通して、**交流を図る場**としています！

クリスマスならではの**お楽しみ企画**も用意しています！

参加費、申込み不要ですので、ぜひご参加ください！

●問合先 ☎43-6661 (担当：地域福祉課)

弁護士による「巡回相談」 予約受付開始のご案内

法律の専門相談の機会を提供し、地域の方々の心配事や悩みごとの相談に応じます。相談に関しましては、

秘密厳守・無料・予約制です。

予約の締め切り期限は、**11月2日(水)**となっておりますので、お早めに下記申込先までご連絡ください。

日 時：11月9日(水)
午前10時～午後3時(1人30分まで)

場 所：浦谷町高齢者福祉複合施設 ゆうらいふ
※相談室まで、ご案内します。

相談内容：相続、財産、契約などの法律問題

定 員：午前10時から午後0時まで：4名
午後1時から午後3時まで：4名
※予約は、先着順となります。

申 込 先：☎43-6661 (担当：地域福祉課)

心温まる善意 ありがとうございました

(平成28年6月7日～平成28年10月7日まで)

寄付物品

- 下町区 安部 正明 様 タオル等
- 八雲区 寺澤 元夫 様 介護用品(電動ベッド等)
- 脇 区 伊藤 勝秋 様 新米(60kg)

生活相談所

独りで悩んでいませんか？ **秘密厳守!**
まずは、お気軽にご相談ください。

「生活が苦しい」 「介護に疲れた」
「子育てが不安」 「職場環境が悪い」
など・・・

開設日：10月19日(水)、11月30日(水)
12月21日(水)、1月25日(水)

相談時間：午後1時～午後3時
相談場所：ゆうらいふ相談室

※相談日以外にも、ご相談をお受けします。
問合先 ☎43-6661 (担当：地域福祉課)

編集後記

いつもながら、119号でも『おらほのふれあいレポ』の充実さに人の力を感じます。

雨二毛台風二毛負けず、それぞれに見合った立場で、**おわりよければすべてよし**とばかりに地域住民との交流を図っています。ほのぼのとした労り、優しさが満ちています。

最近国保病院で祖母が入院中という下町の高校生と出会いました。

「お見舞？」「はい、毎日来ています。」「大変なのに偉いね！」「大事な人ですから！」

制服姿でまっすぐ堂々としています。家族のあり方を教えられたような気がします。

広報委員

ボランティアグループ 「あけぼの会」

朗読テープの貸し出し

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。

ボランティアグループ「あけぼの会」

問合先 ☎43-6661 (担当：地域福祉課)